

## 北海道合鴨水稲会

# 水かき通信

### 第8回北海道合鴨水稲会圃場見学会報告

田澤 康之 (北大大学院)

#### はじめに

今年も毎年恒例となっている圃場見学が道北ブロック主催で、旭川にて行われました。はじめに北海道合鴨水稲会代表世話人である浅野さんの圃場を見学、その後、山地酪農で全国的にも有名な斎藤牧場を見学し、そのまま斎藤牧場にて懇親会、宿泊、という日程でした。今回の圃場見学会には北海道合鴨水稲会会員、合鴨農法に興味を持つ農業者、消費者、学生等、あわせて20人程度の参加となりました。

#### 見学会にて

圃場ではまず二ヶ所に分かれている圃場を見学した後、経営主である浅野さんを囲む形で様々な質問や意見交換等が行われました。

浅野さんの圃場は全部で4枚あり品種はゆきひかり、ほしのゆめ、きららの3つ、合鴨は1反につき1.5羽放しているということでした。浅野さん圃場の合鴨は元気がいいためか、草取りを人間が行うということはない、との説明でした。しかしあまり

にも元気が良すぎるため、合鴨が集まる水の取り入れ口付近で、ほとんど草がなくなってしまう状態の圃場もありましたが、浅野さんは「草が増えるよりはよいと割り切っている」とおっしゃっていました。圃場の案内中、浅野さんには細かいことまで丁寧に説明していただきました。参加者の方々も浅野さんの説明に熱心に耳を傾けつつ、真剣な面持ちで圃場や合鴨の状態を見学されていました。特に元気のいい鴨たちには、皆さん感心しきりの様子でした。

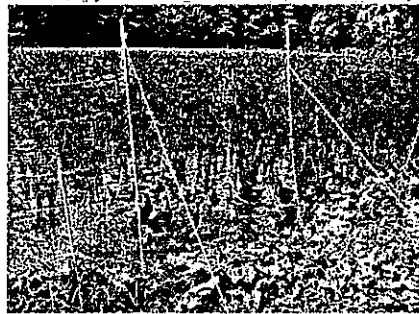


今年も天気に恵まれた圃場見学会



意見交換会の様子

圃場を見学した後、圃場から家の前に場所を移し、浅野さんから圃場、合鴨の飼育に関する説明が行われました。その後、浅野さんを囲んでの質問、意見交換が行われました。特に、世話人の方々が中心となり、浅野さんに稲の品種・栽培方法、水管理の工夫、外敵対策等、合鴨を飼う上での技術的な側面などについて具体的に質問するといった場面が数多く見られ、とても充実した意見交換の場となりました。またここは、当会会員はじめ参加者同士の簡単な自己紹介を兼ねる交流の場ともなりました。



稲も合鴨も元気な浅野さんの圃場

### 斎藤牧場にて

圃場見学会終了後、全国的に有名な、山地酪農の代表的な牧場である斎藤牧場へ車にて移動となりました。はじめに斎藤さん自身についての簡単な説明の後、牛が集まっているという山頂へ。斎藤牧場の特徴はなんととっても急勾配。日頃運動不足のわたしにとってはちょっとした登山気分でした。斎藤さんの説明によると、牧場の牛の品種はすべてホルスタインであり、餌のかや、土への肥料は草の状態を見て不定期的にやっている、とのことでした。私たちが質問する度に、斎藤さんは説明に加え、口癖のように「牛が土を育ててくれ、人間が手入れをする必要ないのだ」とくりかえし話しておられました。



熱心にお話しを下さった斎藤さん

自然に近い状況でおこなわれている斎藤牧場の酪農方法と合鴨農法等の自然農法とはなるほど共通点が多い、との印象を受けたのはおそらく私だけではなかったでしょう。そして普段、市街地で生活するわたしにとって、沈みかけた夕日が急斜面の牧草地に広がる光景は、超自然的でありながらも、どこか不自然なほど美しく、とてもすてきな思い出となりました。夜はそのまま斎藤牧場にて懇親会というかたちでパー

ベキューに突入。しかし、お酒が入ると皆さん若い。やはり自然農法等に深く興味を持ち献身している方達だけあってバイタリティーあふれる方が多く、圧倒されっぱなしでありました。そして、とてもリラックスした雰囲気の中、楽しい会は夜更けまで続いていきました。



くつろいだ雰囲気での意見交換する参加者の皆さん



### おわりに

久しぶりに市街地を離れ、パワーのある農家のみなさんと出会い、わたしにとってとてもすてきな一日となりました。短い時間ではありましたが、今年も参加者の皆さんにとって充実した圃場見学会がおこなわれたことと確信しております。場所を提供してくださった浅野さん、斎藤さん、本当にありがとうございました。



事務局よりお知らせ

□北海道合鴨水稲会入会案内

当会の主な活動は、総会及び勉強会、圃場見学会、『水かき通信』の発行、全国合鴨フォーラムへの会員派遣、等です。入会されますと、行事の案内状、『水かき通信』が届きます。入会の手続きは、当会事務局に連絡していただくと入会申込書を送ります。入会申込書に記入後、事務局まで送り返していただき、あわせて年会費 3,000 円を納入していただくと入会することができます。

□水かき通信記事投稿の募集

水かき通信に掲載する原稿を募っています。随時受け付けておりますので、気軽に原稿を事務局までお送りください。原稿の形式は問いません。

□2002 年度会費納入のお願い

2002 年度の年会費 3,000 円をまだ支払われていない方は、12 月中旬までに以下の郵便振込口座に振り込んでください。

口座番号：02700-3-38241  
加入者名：北海道合鴨水稲会  
払込払出局：札幌北7条郵便局

編集後記

今回の水かき通信は、圃場見学会のお知らせのみとなりました。会員の皆様に変え申し訳なく思っています。今回は沢崎さんの入院という緊急事態もあり、早めに発行し、お知らせしたかったということをご理解頂ければ幸いです。今後は皆様からの原稿も募り充実した紙面づくりに励んでいきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(事務局：河本・宮入)

北海道合鴨水稲会 水かき通信 第14号

2002年11月12日発行

(連絡先) 北海道合鴨水稲会事務局

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

北海道大学大学院農学研究科

農業経済学講座

宮入隆・河本陽介

TEL : 011 (706) 4941

FAX : 011 (706) 4179

E-mail : [kawayo@agecon.agr.hokudai.ac.jp](mailto:kawayo@agecon.agr.hokudai.ac.jp)